

しみんかいぎだより

令和2年 9月 No.18

市民会議会員の皆さまいかがお過ごしでしょうか。いつも市民会議の活動にご協力いただきありがとうございます。私たち市民会議の実行委員会も書面会議等で活動しておりましたが、この度「しみんかいぎだより」発行のため、数か月ぶりに顔を合わせることができました。

新型コロナウイルスの感染拡大は依然として全国的に続いております。道は新しい生活スタイルの実践を推進されていますが、今後の感染拡大に備え、一人ひとりが基本的感染対策を守り、健康に留意することが大切です。それには、基本的な運動、栄養、睡眠で体力づくりを心掛けることがすべてではないでしょうか。

コロナが収束するまで我慢です。頑張りましょう。

いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議 代表 東海林 公子

◆第5回男女共同参画川柳コンテスト入賞者決定

厳正なる審査の結果、次のとおり入賞作品が決まりました。みなさん、ご応募ありがとうございました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、男女共同参画市民フォーラムが中止になったことから表彰式は行わずに、受賞されました皆さんには賞状と副賞を直接お渡ししました。

【大賞】	「ありがとう」なんもなんもと支え合い	金子 幸男さん
【入選】	コロナ危機男女関係知恵を出す	新谷 和恵さん
	性差別なくすバトンを次世代へ	田中華子さん
	共働は男女互いのリスペクト	原 恭子さん
	性別を超えて生まれる君らしさ	平山 紗也華さん
	お互い時にはサポートそっと出し	藤森 倭文子さん



大賞の金子幸男さん

＜応募期間：令和2年4月1日～5月8日 応募総数：17名49点＞

◆令和2年度 男女共同参画週間啓発展示

毎年6月23日から29日までの「男女共同参画週間」にあわせて、様々な活動を展開しています。例年、市内の商業施設の店舗前で街頭啓発を行っていましたが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、市内6か所で啓発展示を行いました。展示には男女共同参画川柳コンテストの入賞作品も掲示しました。



【イオン岩見沢店】



【てあえる岩見沢】



【市役所】



【ポスター】

内閣府では毎年、男女共同参画週間のキャッチフレーズを募集しています。今年に応募総数2615点の中から、「そっか。いい人生は、いい時間の使い方なんだ。」「ワクワク・ライフ・バランス」の2点が最優秀賞作品に選ばれました。

新型コロナウイルス感染症に関連して

◆DV（ドメスティックバイオレンス）

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛の要請や休業要請などで、普段よりも夫婦が家に一緒にいる機会が増え、生活不安やストレスが原因で配偶者等からの暴力（DV）の増加が懸念されています。

3密を避けるため『ステイホーム』という言葉が広まり、一見「家族団らんの延長」という微笑ましい姿がイメージされますが、家にいる方が苦しく、命の危険にさらされてしまう人がいることを忘れてはいけません。

DVは重大な人権侵害であり、いかなる状況にあっても、決して許されるものではありません。



ひとりで悩まず、
相談してください

相談窓口

- 市役所市民連携室男女共同参画担当 0126-23-4111
- 北海道立女性相談援助センター 011-666-9955
- 空知総合振興局環境生活課 0126-25-5648

◆女性の貧困問題

4月の総務省労働力調査では、正規雇用者の女性が昨年の同月から41万人増えているのにもかかわらず、非正規雇用者の女性は71万人も減っています。

新型コロナウイルス感染症で、特に大きな打撃を受けている飲食、観光、サービス分野では雇用者に占める女性の割合が高い状況です。無給のまま休業を余儀なくされたり、解雇・雇止めも多く、女性がより深刻な雇用の危機にさらされることも懸念されています。

非正規雇用者の処遇改善を進めるとともに、多様な困難に直面する女性に対する効果的な支援を実現することが重要であります。



おもな支援

- ひとり親世帯臨時特別給付金：子育てと仕事を一人で担うひとり親世帯を支援するための給付金。（市福祉課 児童福祉グループ 0126-23-4111）
 - 緊急小口資金・総合支援資金：休業などで日常生活の維持が困難となった場合の生活費の貸付。（社会福祉協議会 0126-22-2960）
- ※他にも各種保険料の減免、免除などがあります。
詳しくは市のホームページ（<http://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp>）をご覧ください。

◆新型コロナウイルス用語集

新型コロナウイルス感染症の流行で聞き慣れない言葉を次々と耳にするようになりました。何となくわかっているようで実は正確には知らなかったりするコロナ用語をいくつか紹介します。

用語	意味
コロナ禍（か）	新型コロナウイルスの感染拡大によって生じるさまざまな禍（わざわい）のこと。
ソーシャルディスタンス	社会的距離。感染症などの感染拡大防止のために、人と人の間に物理的な距離をとること。具体的には、1.8メートルから2メートル以上の距離が必要と言われている。
3密（さんみつ）	新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために個人が避けるべき、換気の悪い「密閉」空間、多数が集まる「密集」場所、間近で会話や発声をする「密接」場面の3つのこと。
クラスター	もともとは「同じ種類のものが集まって作る群れ」という意味。患者の集団のこと。3密（密閉、密集、密接）の状態でも多くのクラスターが発生したと言われている。
濃厚接触者	感染者の発症2日前から手で触れることのできる距離（1メートル程度）で必要な予防策なしで、感染者と15分以上の接触があった者を指す。
オーバーシュート	感染症の罹患者が急増する事。英語で「通り越す」「行き過ぎる」という意味。



国際的な視点から男女共同参画を考えよう！

◆SDGsって何？

SDGs (エス・ディー・ジーズ) とは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。2015年9月に国連総会で採択され、2030年達成に向けて、世界を変えるために17の目標から構成されています。その中の一つに「目標5 ジェンダー平等を実現しよう」があります。この目標5では、ジェンダー平等を達成し、すべての女性と女の子のエンパワーメント※を実現することを提言しています。

(※エンパワーメント：あらゆる場面で自己決定力と責任を持ち、もてる能力を発揮できるよう「力」をつけること)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

5 ジェンダー平等を実現しよう

「6つのターゲット」

- あらゆる形態の差別の撤廃
- 公共・私的空間における暴力の撤廃
- 児童婚、強制婚、女性器切除などの有害な慣行の摘発
- 無償ケア（育児・介護・家事・看護）労働の再分配
- 意思決定における女性の完全かつ意味のある参画及び平等なリーダーシップの機会の確保
- 性と生殖に関する健康及び権利への普遍的アクセスの確保

◆ジェンダーギャップ指数って何？

「ジェンダーギャップ」とは、男女の違いにより生じる格差のことを言います。

「ジェンダーギャップ指数」とは世界経済フォーラムで毎年公表している世界男女格差指数で、各国を対象に経済、政治、教育、健康の4分野の様々なデータから作成されています。

2019年の日本の男女格差は、昨年よりもランキングを11位落とし、153か国中121位と過去最低の順位になりました。

【日本のジェンダーギャップ指数の推移】

年	2015	2016	2017	2018	2019
順位	101位	111位	114位	110位	121位
ギャップ指数	0.67	0.66	0.657	0.662	0.652
参加国数	145	144	144	149	153

【2019年各分野の比較】

分野	順位	ギャップ指数
経済	115位	0.598
政治	144位	0.049
教育	91位	0.983
健康	40位	0.979
総合	121位	0.652

<調査国数：153か国>

ジェンダーギャップ指数は「女性÷男性」で計算され、男女の格差が無くなれば指数は「1.000」に、格差が大きければ「0.000」に近づく。(0が完全不平等、1が完全平等)

グラフを見てわかるように、日本のジェンダーギャップ指数は特に政治の分野が著しく低い結果になっています。

政治分野で大きく順位を下げた理由には、「女性の首相がこれまで1度も就任していない」「議員や閣僚に占める女性比率が少ない」など女性の政治参加の低さが要因になっています。女性の政治参加が低いということは、政策決定に女性の声が反映されないということです。

平成30年には「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が施行され、衆議院、参議院及び地方議会の議員の選挙において、男女の候補者の数ができる限り均等となることを目指すなどが基本原則として盛り込まれています。

現在、岩見沢市議会に女性議員が一人もいません。女性議員が誕生することを切に願っています。



女性活躍重点方針2020

女性の活躍を推進するために、内閣府男女共同参画局より「女性活躍加速のための重点方針2020」が7月に公表されました。「女性活躍加速のための重点方針2020」では、4点の考え方を基本とし、新型コロナウイルスの感染拡大による女性への深刻な影響及び女性活躍の新たな可能性への対応（テレワークやオンラインの活用）についての方針が盛り込まれています。



基本的な考え方

- 女性に対する暴力の根絶に向けた取り組みや困難に直面する女性への支援の充実
- 仕事と育児・介護等を両立できる環境の整備及び社会全体での意識改革の推進
- 女性活躍推進のための自主的な取り組みや地域の実情に応じた取り組みの後押し
- あらゆる施策における男女共同参画・女性活躍の視点の反映

今後重点的に取り組むべき事項の一つに「あらゆる分野における女性の活躍」を掲げています。

あらゆる分野における女性の活躍

●男性の暮らし方・意識の変革

企業や国・地方公共団体における男性の育児休業等の取得促進、男性の家事・育児等への参画に向けた国民の意識の醸成など

●女性活躍に資する多様な働き方の推進

テレワークの推進、女性活躍推進法に基づく中小企業への行動計画の策定等の支援、職場におけるハラスメント対策、女性の学び直しや就業ニーズの実現など

●地域における女性活躍の推進

地域女性活躍推進交付金による支援、地域特性の見える化等を通じた各地方公共団体の取組の促進など

●あらゆる分野における女性の参画拡大・人材育成

女性の政治参画の状況や環境整備に関する調査・情報提供、理工系女性人材の育成や企業における女性役員登用・育成の推進など



※詳しくは内閣府男女共同参画局のホームページ (<http://www.gendar.go.jp>) をご覧ください。

今後の予定をお知らせします

秋の街頭啓発

昨年は、コープさっぽろ店舗前で街頭啓発を行いました。今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、啓発展示を行う予定です。

ア・ライクの発行

毎年3月発行の男女共同参画情報誌「ア・ライク」には、男女共同参画の情報や市民会議の活動について掲載しますので、楽しみに。

ステップアップ講座を中止します

毎年秋に開催しておりますが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止します。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

■あしがき

コロナ禍で市民会議の活動も中止や変更を余儀なくされ、仕方がないと思う反面、がっかりする事もありました。異例の展開で戸惑うばかりでしたが、一つのことを学びました。それは人と人との“つながり”です。

優しくなれない、生きづらい世の中ではありますが、どこかで、何でかで人と人がつながりを持っていれば必ずいつの日か明るい未来が待っている気がします。

市民会議の活動もこの“つながり”を大切にしていきたいと思えます。

女性に対する暴力をなくす運動

11月12日から25日は女性に対する暴力をなくす運動期間です。今年もパネル展を実施して、女性に対する暴力根絶に向けた取り組みを行います。



【昨年のパネル展示】

■事務局

☆岩見沢市役所 総務部 市民連携室内

〒068-8686 岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号
TEL: 0126-23-4111 (内線422)
FAX: 0126-23-9977
E-mail: danjo@i-hamanasu.jp

こちらまでお気軽に
お問い合わせください。

